

# 令和 6 年度 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

## 事業報告

### 1. 事業総括

令和 6 年度は、ACMA ビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』～生産性向上と県・地区協会一体化の実現～のもと、以下の 3 つの事業方針を掲げ、地区協会の運営負担軽減も含めた組織運営の効率化と生産性を向上させ、職能団体としての構造改革と運営体制を進化させる為、職能団体としての各活動に取り組みました。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 県・地区協会の運営一体化による生産性向上と永続化の実現</li><li>2. 運営事業の評価と今後に向けてのブラッシュアップ</li><li>3. 秋田県へ地域貢献と地域課題の発見・政策提言、情報発信</li></ol> |
|---|

まずは、協会の事務局体制について、新たに職員 1 名を採用し事務局 5 名体制となり現組織体系として職員数の充足を図りました。同時に県・各地区事務局との会議を重ね、会員管理及び会費徴収事務について県協会への移行を果たすことができ、地区事務局の負担軽減、担い手の課題解決を図ることができました。今後は会員への LINE ワークス登録を推進することで、更なる生産性の向上を実行し、協会運営の永続化を実現します。

次に、秋田県から受託している各事業についても、継続する部分と変化させる部分について、実施状況を評価することで実施内容や方法を見直しました。特に新しい取り組みとして、法定外研修では「災害対策関連研修」を実施し、法定外研修では（一社）日本介護支援専門員協会とも連携を図り、講義部分に動画を活用したオンデマンド配信を導入し、講義の標準化と質の向上を図りました。

そして、学生向けのオンライン集い場の開催を実施し、ヤングケアラー課題への対応もブラッシュアップし、これまで以上の秋田県への地域貢献にも取り組んでいます。また、令和 6 年度から鈴木健太氏より顧問に就任いただき、政策提言にも努めるとともに、ホームページを活用した情報発信にも積極的に取り組むこともできました。

協会事務局独立 4 年を費やし、組織運営体制について人事面・事業面・財政面において基本的な形を整備することができたのは、4 年前を考えると大きな成果と言えます。

これも、すべては秋田県長寿社会課及び地域・家庭福祉課様からの手厚いご支援をはじめ、理事及び会員の皆様の献身的な活動への協力をいただいたおかげです。ご支援ご協力をいただきました全ての方々に感謝を申し上げます。

令和 7 年度も変革の時流となりそうですが、どんな時代になろうとも、これまで積み重ね

たことを更に進化させ、当協会の発展・永続化と秋田県民の幸せと介護支援専門員の未来創造の為に行動して参ります。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

### I 令和6年度秋田県介護支援専門員資質向上事業

〈令和6年度秋田県介護支援専門員再研修実施報告〉

#### 1. 目 的

介護支援専門員として実務についていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識、技能の再修得を図ることを目的として実施した。

#### 2. 実施主体 秋田県

#### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### 4. 受講対象者

介護支援専門員として都道府県の登録を受けた者で、介護支援専門員証の有効期間がすでに切れている者。(再研修開催期間中に有効期間満了日を迎える者を含む。)

#### 5. 研修期間、回数、期日等

期 間	期 日	研修方法
10日間	令和6年8月5日(月)～ 8月9日(金) 8月26日(月)～8月30日(金)	Zoomによるオンライン研修

#### 6. 研修内容

10日間(計54時間)の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント
- ②生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義
- ③ケアマネジメントに係る法令等の理解

- ④介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）
- ⑤地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源
- ⑥自立支援のためのケアマネジメントの基本
- ⑦人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理
- ⑧ケアマネジメントの展開

（生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント、脳血管疾患のある方のケアマネジメント、認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント、大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント、心疾患のある方のケアマネジメント、誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント、高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解、看取りに関する事例、地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント）

- ⑨アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

## 7. 講 師 表 3

## 8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 54 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

### 〈令和 6 年度秋田県介護支援専門員更新研修実施報告〉

#### 1. 目 的

介護支援専門員証に有効期間が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

#### 2. 実施主体 秋田県

#### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### 4. 研修名

（1）介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉

##### ◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している方又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね 1 年以内に満了する者。

##### ◎研修内容

計 88 時間の研修を実施した。

〈前期 計 56 時間、後期 計 32 時間〉

## 〔主な内容〕

### 前期

- ① ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定
- ② 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状
- ③ 対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）
- ④ ケアマネジメントの実践における倫理
- ⑤ 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑥ リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
- ⑦ ケアマネジメントの演習
  - ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
  - ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - ・心疾患のある方のケアマネジメント
  - ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
  - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
  - ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
- ⑧ 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習
- ⑨ 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

### 後期

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開
- ② ケアマネジメントの実践における倫理
- ③ リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
- ④ ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表
  - ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
  - ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - ・心疾患のある方のケアマネジメント
  - ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
  - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
  - ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

### ◎研修期間、回数、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(更新研修前期) (合計 4 日間)		
期 日		開催方法
1 組	令和 6 年 6 月 1 8 日 (火) ～ 6 月 2 1 日 (金)	Zoom による オンライン研修
2 組	令和 6 年 7 月 9 日 (火) ～ 7 月 1 2 日 (金)	
(更新研修後期) (合計 3 日間)		
期 日		開催方法
1 組	令和 6 年 7 月 2 4 日 (水) ～ 7 月 2 6 日 (金)	Zoom による オンライン研修
2 組	令和 6 年 8 月 2 1 日 (水) ～ 8 月 2 3 日 (金)	
3 組	令和 6 年 9 月 1 1 日 (水) ～ 9 月 1 3 日 (金)	

◎講師

前期 表1 後期 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者37名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

(後期1組18名、後期2組9名、後期3組10名 うち15名前期免除者)

(2) 介護支援専門員更新研修〈実務経験者(2回目以降更新対象者)〉

◎受講対象者

介護支援専門員の資格取得後、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ又は実務経験者の更新研修を修了し、初回の介護支援専門員証の更新をした者で、その後、最新の有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

◎研修内容

計32時間の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開
- ②ケアマネジメントの実践における倫理
- ③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
- ④ ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表
  - ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
  - ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - ・心疾患のある方のケアマネジメント
  - ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

◎研修期間、回数、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(合計3日間)		
期	日	開催方法
1組	令和6年 7月24日(水)～7月26日(金)	Zoomによる オンライン研修
2組	令和6年 8月21日(水)～8月23日(金)	
3組	令和6年 9月11日(水)～9月13日(金)	

◎講師 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者158名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

(1組81名、2組36名、3組41名)

(3) 介護支援専門員更新研修(実務未経験者)

◎受講対象者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者で、介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者。

◎研修期間、回数、期日等

期 間	期 日	研修方法
10日間	令和6年8月5日(月)～ 8月9日(金) 8月26日(月)～8月30日(金)	Zoomによるオンライン研修

◎研修内容

10日間(計54時間)の研修を実施した。

[主な内容]

- ①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント
- ②生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義
- ③ケアマネジメントに係る法令等の理解
- ④介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)
- ⑤地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源
- ⑥自立支援のためのケアマネジメントの基本
- ⑦人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理
- ⑧ケアマネジメントの展開

(生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント、脳血管疾患のある方のケアマネジメント、認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント、大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント、心疾患のある方のケアマネジメント、誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント、高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解、看取りに関する事例、地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント)

◎講師 表3

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者80名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

## 〈令和6年度秋田県介護支援専門員専門研修実施報告〉

### 1. 目 的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験を踏まえた専門知識、技能の修得を図るとともに、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得することにより、介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施した。

### 2. 主 催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

### 3. 研修課程毎の内容

#### (1) 介護支援専門員研修専門研修課程Ⅰ

##### ◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者。

##### ◎研修内容

計56時間の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ①ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定
- ②介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状
- ③対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）
- ④ケアマネジメントの実践における倫理
- ⑤ 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践
- ⑥リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
- ⑦ケアマネジメントの演習
  - ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
  - ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - ・心疾患のある方のケアマネジメント
  - ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
  - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
  - ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
- ⑧ 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習
- ⑨研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り



◎研修期間、回数、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(合計4日間)		
期	日	開催方法
1組	令和6年 6月18日(火)～6月21日(金)	Zoomによる オンライン研修
2組	令和6年 7月9日(火)～7月12日(金)	

◎講師 表1

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者36名に対し、修了証明書を交付した。  
(1組22名、2組14名)

## (2) 介護支援専門員専門研修専門研修課程II

◎受講対象者

原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、専門研修課程Iを修了している就業後3年以上の者。

◎研修内容

計32時間の研修を実施した。

〔主な内容〕

①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開

②ケアマネジメントの実践における倫理

③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解

④ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表

- ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
- ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
- ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
- ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
- ・心疾患のある方のケアマネジメント
- ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
- ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

◎研修期間、回数、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(合計3日間)		
期 日		開催方法
1組	令和6年 7月24日(水)～7月26日(金)	Zoomによる オンライン研修
2組	令和6年 8月21日(水)～8月23日(金)	
3組	令和6年 9月11日(水)～9月13日(金)	

◎講師 表2

◎修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者136名に対し、修了証明書を交付した。  
(1組64名、2組31名、3組41名)

〈令和6年度秋田県主任介護支援専門員研修実施報告〉

1. 目 的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを实践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体 秋田県

3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有し、主任介護支援専門員に求められる役割を自覚し、今後その業務に携わる者として適格であるとし、実施要綱に定められた3要件を満たすとして所属長の推薦を受けた者。

5. 研修期間、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(合計 8 日間)	
期 日	研修方法
令和 6 年 10 月 16 日 (水) ～ 10 月 18 日 (金) 10 月 28 日 (月) ～ 10 月 31 日 (木) 11 月 8 日 (金)	Zoom によるオンライン研修

## 6. 研修内容

計 70 時間の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ① 主任介護支援専門員の役割と視点
- ② ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援
- ③ 終末期ケア（EOL エンドオブライフ ケア）を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解
- ④ 人材育成及び業務管理
- ⑤ 運営管理におけるリスクマネジメント
- ⑥ 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）
- ⑦ 地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協の実現
- ⑧ 対人援助者監督指導（スーパービジョン）
- ⑨ 個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

## 7. 講師 表 4

## 8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者 56 名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

### 〈令和 6 年度秋田県主任介護支援専門員更新研修実施報告〉

#### 1. 目 的

主任介護支援専門員に対して更新研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図ることを目的として実施した。

#### 2. 実施主体 秋田県

#### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### 4. 受講対象者

介護支援専門員証の有効期間内であり、実施要綱に定められた要件のいずれかに該当するものであって、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期間がおおむね2年以内に満了する者。

#### 5. 研修期間、期日等

I 講義科目 オンデマンド視聴により受講

II 演習科目 オンライン受講

(合計6日間)	
期 日	研修方法
令和6年 9月18日(水)～9月20日(金) 9月25日(水)～9月27日(金)	Zoomによるオンライン研修

#### 6. 研修内容

計46時間)の研修を実施した。

〔主な内容〕

- ① 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向
- ② ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援
- ③ リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解
- ④ 主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践
  - ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント
  - ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント
  - ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
  - ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
  - ・心疾患のある方のケアマネジメント
  - ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
  - ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例
  - ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

#### 7. 講師 表5

#### 8. 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者195名に対し、秋田県より修了証明書が交付された。

## Ⅱ 令和6年度主任介護支援専門員の指導力向上 OJT 研修事業

〈ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修〉

### 1. 目 的

今年度から、新たに法定研修カリキュラムにおいて盛り込まれた「適切なケアマネジメント手法」で整理された内容を踏まえて課題分析標準項目が改正され、ケアプラン点検項目においても、課題分析標準項目に示された内容が反映されている。

そこで、ケアプラン点検を適正に行えるアドバイザーとなるために、主任介護支援専門員の育成及び指導力の向上を図ることを目的として、本研修を開催した。

### 2. 実施主体

秋田県

### 3. 運営主体

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

### 4. 受講対象者

主任介護支援専門員

### 5. 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和6年 10月23日（水） 第1日目	第1部 13：30～14：00 (14：00～14：15)	ケアプラン点検について 講師：秋田県介護支援専門員協会 休憩	オンライ ン(ZOOM)
	第2部 14：15～16：50	オンラインツール(ZOOM)を活用したケアプラン点検の見学実習(2事例) 協力：大曲仙北広域市町村圏組合 介護保険事務所	
令和6年 11月6日（水） 第2日目	13：30～15：30	グループワーク① (第一日目の所感を共有) グループワーク② (自己点検内容の共有)	オンライ ン(ZOOM)

### 6. 修了者数等

修了者 47名      修了証明書交付 38名（希望者）

〈地域同行型研修〉

1. 目 的

本研修は、地域における人材育成の観点から、実務経験の浅い介護支援専門員等に対し、主任介護支援専門員等による実習型研修を実施することにより、介護支援専門員の実務能力の向上及び主任介護支援専門員の指導力の向上を図ることを目的として実施した。

2. 実施主体 秋田県

3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

4. 受講対象者

県内の居宅介護支援事業所に勤務し、本研修を受講するに相応しい介護支援専門員

5. アドバイザー

県内の居宅介護支援事業所に勤務し、本研修においてアドバイザーとして活躍が期待される主任介護支援専門員

専門職

県内の事業所に勤務し、職能団体が推薦する理学療法士、作業療法士、薬剤師

6. 研修期日、内容、講師等

期 日	時 間	研 修 内 容	開催方法
令和6年 11月18日（月）  【全体研修】	13:00～14:00	適切なケアマネジメント手法（基本ケア）について（講義）	オンライン (ZOOM)
	14:00～14:30	地域同行型研修概要の説明および進め方の説明 ＊配布資料・提出書類について ＊ワークシート等、記入方法について	
	14:30～16:00	アセスメント確認（提出ケースについて） 読み込みや目標設定 同行研修日程打合せ	

令和6年 11月19日(火) ～ 令和6年 12月20日(金)  同行型研修	パワーポイント 作成は1月10日 (金)まで	個別面談 ・ペアとなったアドバイザーと介 護支援専門員で最終調整 個別実習 ・サービス担当者会議及びモニタ リングにペアになったアドバイザー (協会より派遣) が同行*状況に 応じてオンラインや動画活用も可 能	同行訪問
令和7年  1月15日(水)  全体研修	13:00～13:10 13:10～15:10    15:20～15:50 15:50～16:00	オリエンテーション プレゼンテーション 受講者が所属する居宅介護支援事 業者の管理者、研修の日程を周知し 希望者にも聴講してもらう   振り返り・アドバイザー講評 閉会の挨拶 *修了証は後日送付	オンライン (ZOOM)

#### 6. 修了者数等

修了者 5名      修了証明書交付 5名

### Ⅲ 令和6年度介護支援専門員等に対する実践力向上研修事業

〈事業所管理者向け研修〉

#### 1. 目的

管理者として必要な専門的知識・技術をさらに磨き、そして本研修を事業所に持ち帰り、実践することにより、事業所職員のスキルアップと事業所としての安定経営を図ることを目的として実施した。

#### 2. 実施主体 秋田県

#### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### 4. 受講対象者

主任介護支援専門員

居宅介護支援事業所等の管理者

労務管理や人材育成等のスキル取得を目指す介護支援専門員

管理者業務に興味のある方

#### 5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和6年11月12日（火）午前10時から午後4時

講師：一般社団法人あたとご研究所 代表理事 後藤 佳苗

時間	内容
10：00～10：30	1. 令和5年度介護保険制度法改正・令和6年度介護報酬改定の概要
10：30～12：10	2. 「適切なケアマネジメント手法」の理解～実践と人材育成に生かす工夫～
12：10～13：00	昼休憩(50分)
13：00～15：40	3. 事業所の土台を固める～令和6年度介護報酬改定を有効活用～ ① 高齢者の権利擁護(虐待防止と身体的拘束等) ② 業務継続計画の確認と優先利用者の管理 ③ オンラインモニタリングを含むICTの推進
15：40～16：00	4. まとめ、質疑応答

#### 6. 修了者数等

修了者 99名 修了証明書交付 66名（希望者）



## 〈初任者フォローアップ及び復職者向け研修実施報告〉

### 1. 目 的

本研修は日頃の業務で感じている不安や悩みを少しでも解消できるよう、誰もがつまづくアセスメントに焦点を当てながら、講義、演習を通して実践的な方法も理解する事が出来る事を目的とし、さらに、アセスメントに自信がつくことでモチベーション向上につながることを期待して開催した。

### 2. 実施主体 秋田県

### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

### 4. 受講対象者 初任段階の介護支援専門員（実務経験5年未満の者）

### 5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和6年12月13日（金）午前10時から午後4時

内容：「本人らしさ（個別性）に着目したアセスメント手法へイノベーション」  
～新課題分析評価項目と適切なケアマネジメント手法を活用する～

講師：ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸  
ふくしの人づくり研究所 奥田 亜由子

### 6. 修了者数等

修了者 38名 修了証明書交付 29名（希望者）

## 〈災害対策関連研修実施報告〉

### 1. 目 的

本研修は、居宅介護支援事業者、施設勤務従事者等の業務に従事する介護支援専門員等が、災害が発生した場合でも適正な対応や支援ができるよう、またケアマネジメントが安定的・継続的に提供されるよう、必要な知識の習得や技能の向上を目的として開催した。

### 2. 実施主体 秋田県

### 3. 運営主体 特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

### 4. 受講対象者 秋田県内の介護支援専門員

## 5. 研修期日、内容、講師等

日時：令和6年11月19日（火）午前10時から午後4時

時 間	内 容	講師等
10：00	開会	特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和
10：05	主催者挨拶	
10：05～12：00	講義テーマ 「介護支援専門員に求められる、 平時～有事の対応等について」	一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 七種秀樹 氏
	1部	
12：00～13：00	休憩	
13：00～16：00	2部 質疑応答・事務連絡	
16：00	閉会	

## 6. 修了者数等

修了者 117名 修了証明書交付 100名（希望者）

## Ⅳ自主事業

### <介護予防従事者研修>

#### 1. 目 的

介護予防支援の業務に従事する介護支援専門員等が、介護予防支援計画書を作成できるよう必要な知識の習得及び技能の向上を図り、適切な介護予防支援の提供を確保することを目的として開催した。

#### 2. 主 催

特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会

#### 3. 参加対象

介護予防支援事業所において介護予防支援業務に従事する者および指定居宅介護支援

## 事業所の介護支援専門員

4. 研修期日 令和5年12月13日（水）9：30～13：00

5. 内容・講師等

時 間	内 容	講師等
9：30	開会	秋田県地域包括・在宅介護支援センター 協議会 御所野地域包括支援センター けやき 主任介護支援専門員 阿部 公一 氏
9：35	主催者挨拶	
9：40～11：10	講義「地域包括ケアシステムで求められる介護支援専門員とは」	
11：10～11：20	休憩	泉地域包括支援センター リンデンバウム 管理者 金野 大志 氏
11：20～12：50	講義「介護予防・支援サービス計画書の記載について」	
12：50～13：00	質疑応答・事務連絡	
13：00	閉会	

6. 修了者数等

修了者 106 名      修了証明書交付 86 名（希望者）

### <ICT を活用した生産性向上スキル習得講座>

1. 目 的

ICT でひらく現場力 ～グループワークで見つける課題解決のカタチ～

介護現場における ICT ツールの活用を通じて、日常業務における課題を解決し、生産性を向上させることを目的とする。本研修では、グループワークを通じて業務の具体的な負担や背景にある課題を明確化し、講義やディスカッションを通じて ICT や AI を活用した実践的な解決策を検討することで、現場で役立つスキルと知識を身につける機会を提供する。

2. 主 催

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

3. 期 日

令和 7 年 2 月 27 日（木） 13 時 30 分～16 時 30 分

4. 対象者

I C T を活用したケアマネジメントスキルの向上を目指す介護支援専門員

5. 講師

NPO 法人 タダカヨ

6. 内容

時 間	内 容
13 : 30	開会 主催者挨拶
13 : 40～16 : 25	第 1 部：グループワーク 日々の業務で感じる負担とは？ 業務負担とその背景にある課題 グループで業務のアセスメントをしよう！ 第 2 部：講義 業務効率化のための ICT・AI 活用法 課題解決のカタチとは 第 3 部：グループワーク 業務のアセスメントから改善に向けたプランを 考えよう！
16 : 30	閉会

7. 修了者数等

修了者 49 名      修了証明書交付 26 名（希望者）

## V 令和 6 年度秋田県ケアラー支援・普及啓発事業

1. 令和 6 年度 秋田県ケアラー支援・普及啓発事業 普及啓発セミナー

(1) 目的

県民一人ひとりがヤングケアラーに対する理解を深め、社会全体でヤングケアラーを支える地域づくりのため、全県に発信する普及啓発セミナーを開催した。

(2) 主催

秋田県

(3)実施機関

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

(4)受講対象者

- ①相談支援従事者・行政職員・学校・教育関係者・関係団体等
- ②本テーマにご興味をお持ちのすべての方

(5)研修期日、内容、講師等

- ① 日時：令和6年11月28日（木） 14時00分～16時00分
- ② テーマ：ヤングケアラーの現状と必要な支援を考える
- ③ 内容

第1部 報告（20分） 14：10～14：30

『ケアラーに関する秋田県の支援と取り組みについて』

- ① 秋田県の現状と取り組みに
- ② 秋田県介護支援専門員協会の取り組み

第2部 基調講演（90分） 14：30～16：00

『ヤングケアラーの現状と必要な支援を考える』

講師 日本女子大学名誉教授

一般社団法人 日本ケアラー連盟 代表理事

認定NPO法人 さいたまNPOセンター 代表理事

堀越 栄子 氏

(6)修了者数等

修了者 142名 修了証明書交付 86名（希望者）

2. 令和6年度 秋田県ケアラー支援・普及啓発事業 相談援助従事者研修

(1)目 的

ヤングケアラーの本質的な理解を深め、ケアを「自分事にして考える」機会を提供する。

(2)主催 秋田県

(3)実施機関 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

(4)受講対象者

- ①相談支援従事者・関係団体・行政職員
- ②興味・関心を持つ秋田県民

(5)研修期日、内容、講師等

- ① 日時：令和6年12月4日（火） 14時00分～16時00分
- ② テーマ：ケアラーの視点から伝えたいこと
- ③内容・講師

○上映（35分） 14：10～14：45

短編映画「ツナガル」の上映

○基調講演（65 分） 14:45～15:50

「映画の解説とテーマに基いたワーク」

講師 一般社団法人 ケアラーアクションネットワーク協会

代表理事 持田 恭子 氏

(6) 修了者数等

修了者 94 名 修了証明書交付 42 名（希望者）

3. オンラインつどいの場の開設・運営

オンライン上で集いの場を開催することにより、ケアラーの参加・交流ができる居場所づくりを行うとともに、ケアラーに対する支援の入り口や日常の悩みを吐露でき、安心できる居場所とすることで、孤立予防や課題の早期解決を支援することを目的とし、ケアラーオンラインつどいの場を開催した。

- ・第 21 回 令和 6 年 4 月 25 日（木）
- ・第 22 回 令和 6 年 5 月 23 日（木）
- ・第 23 回 令和 6 年 10 月 24 日（木）
- ・第 24 回 令和 7 年 3 月 27 日（木） 参加者 計 4 名 平均 1 名
- ・ヤングケアラートークルームの開設・運営

小学生から高校生までの学生を対象とした、ヤングケアラーの相談や交流の場として、「ヤングケアラートークルーム」を学生の夏休み、冬休み期間中に開催した。

令和 6 年 7 月 30 日（火）、令和 7 年 1 月 9 日（木）

参加者 計 6 名 平均 3 名

4. 普及啓発チラシの制作・印刷

普及啓発チラシ 30,000 枚の制作及び印刷を行った。

5. SNS による相談対応

「ケアラーサポート LINE 秋田」により、LINE 相談に対応した。

対応日 月～金（平日）の 10:00～18:00

1 回の相談対応時間 60 分まで

- ・相談受付件数 28 件（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

月平均 2.33 件 うちケアラー相談件数 6 件

## Ⅵ 認定調査員研修等事業

### 1. 認定調査員新任者研修

第1回 4月26日開催 63名受講

第2回 10月5日開催 30名受講

講師 秋田県長寿社会課職員、秋田県介護支援専門員協会事務局長

### 2. 認定調査員現任者研修

7月20日開催 17名受講

講師 横手市社会福祉協議会 本部総務課 介護保険事業主査 柴田 司 氏

### 3. 認定審査会委員及び主治医研修

12月16日開催 121名受講

講師 秋田県医師会理事、小野崎医院院長 小野崎 圭助 氏

けあデザインラボ代表 綿貫 哲 氏

## Ⅶ 介護支援専門員資格管理業務

### 申請件数及び介護支援専門員証の状況

令和6年4月1日～令和6年3月31日

申請種別	申請件数	交付件数	備 考
更新	600	593	
登録	1		
登録・交付	144	123	
交付	56	55	
再交付	3	3	
書換	9	8	

転入	0		
転入・交付	3	3	
消除	0		
計	8 1 6	7 8 5	

## VIII 日本介護支援専門員協会支部事業

### ① 社員総会

期 日：令和6年6月29日(土)

場 所：オンライン

出席者：小原会長、長澤副会長、佐藤副会長

### ②支部長会議

#### 【第1回】

期 日：令和6年10月25日(金)

場 所：ホクト文化ホール（長野県）

出席者：小原会長、長澤副会長

#### 【第2回】

期 日：令和7年2月14日(金)

場 所：オンライン

出席者：小原会長、長澤副会長

### ③理事会

#### 【第1回】

期 日：令和6年5月24日(金)

場 所：TKP 神田ビジネスセンター（東京）

出席者：長澤副会長

#### 【第2回】

期 日：令和6年9月27日(金)

場 所：オンライン

出席者：長澤副会長



### 【第3回】

期 日：令和7年 3月14日(金)

場 所：TKP 神田ビジネスセンター（東京）

出席者：長澤副会長

#### ④日本介護支援専門員協会調査協力、活動協力

- ・東北ブロック選出理事
- ・情報収集システム協力者（モニター）に関する協力
- ・介護離職防止支援への介護支援専門員の関与（ワークサポートケアマネジャー）についての特別委員会の委員派遣
- ・介護支援専門員生涯学習体系の運用に関する特別委員会ワーキンググループ委員派遣
- ・介護保険制度・報酬委員会の委員派遣
- ・居宅介護支援事業所部会の委員派遣

## Ⅸ 地区協会支援事業

地区協会支援金交付 各地区正会員一人あたり 500 円の助成

## 3. 組織管理

### (1)会議開催

#### ① 通常総会及び第1回研修会（オンライン開催）

期 日：令和 6年 5月17日(金)

内 容：議案1号 令和5年度事業報告および収支決算について

議案2号 令和6年度事業計画(案)および収支予算(案)について

研修テーマ：「2024年介護報酬改定と介護支援専門員に期待される役割とは」

講師 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 濱田 和則 氏

#### ② 臨時総会（オンライン開催）

期 日：令和7年 3月21日(金)

内 容：議案1号 令和7-8年度役員改選について

#### ③ 理事会（オンライン開催）

**【第1回】**

期 日：令和6年5月10日(金)

内 容：議案1号 令和5年度事業報告および収支決算報告の件  
議案2号 令和6年度事業計画(案)および収支予算(案)の件  
協議事項 ・令和6年度各部会・事業担当理事について  
・法定研修 新カリキュラムへの対応について  
・法人顧問の委嘱について

**【第2回】**

期 日：令和6年11月12日(火)

内 容：報告事項第1号 秋田県介護支援専門員協会令和6年度の事業実施状況について  
報告事項第2号 日本介護支援専門員協会 東北ブロックの状況について  
報告事項第3号 日本介護支援専門員協会 第1回全国支部長会議について  
議案第3号 会員管理及び会費徴収事務の県協会事務局への移行について  
議案第4号 地区支援金の支給方法について

**【第3回】**

期 日：令和7年3月5日(水)

内 容：議案第5号 諸規程の整備について  
議案第6号 令和7年度法定研修について  
報告事項第3号 会員管理等事務取扱の県協会事務局への移行について

**④ 監事会**

期 日：令和6年5月10日(金)

場 所：秋田県介護支援専門員協会事務局

内 容：令和5年度事業報告並びに決算監査について

**⑤東北ブロック会議**

**【第1回東北ブロック会議】**

期 日：令和6年6月18日(火) (オンライン開催)

内 容：協議  
・社員総会に向けた東北ブロックからの課題等について  
・ブロック研修会の企画について  
・次回東北ブロック会議等について

**【東北ブロック打ち合わせ会】**

期 日：令和6年10月2日(水) (オンライン開催)

内 容：協議  
・各支部の活動について  
・支部長会議に向けた東北ブロックからの課題等について  
・ブロック研修会の企画について  
・次回東北ブロック会議等について

【第2回東北ブロック会議】

期 日：令和7年3月1日（土）（ハイブリッド開催）

内 容：協議

- ・各支部の活動について
- ・次期東北ブロック理事の選出について
- ・次回東北ブロック会議について

【東北ブロック研修会】

期 日：令和7年3月1日（土）13：00～15：10（ハイブリッド開催）

内 容：「意思決定支援～利用者主体を実現するために～」

講師 特定非営利活動法人ふくし@JMI 代表 小湊 純一 氏

「一般社団法人日本介護支援専門員協会活動報告」

報告者 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 濱田 和則 氏

⑤部会

（イ）研修部会

- ・ケアマネジャーとしてのスキルアップを目指し、実践に役立つ様々な研修会を開催した。経験年数や業務内容に応じた学びの場があり、初任者からベテランまで、そして学ぶだけではなく、仲間との交流や情報交換の場としても好評を得た。

（ロ）調査研究部会

- ・令和6年度は、調査テーマや内容について考え、何のために調査・研究を行い、何に繋げていくのかを検討した。今年度、主体となる調査活動は行わなかったが、介護保険以外の医療や福祉等の領域のほか、ケアラー支援等も含め、新たな政策や社会資源等についても視野を広げその動向を定期的に把握した。

（ハ）広報部会

- ・広報第23号を発行した。また、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、『Facebook』を通じて会員及び県民向けに幅広く情報提供を行い、『LINE WORKS』を通じて会員への情報提供も行った。

（ニ）相談部会

- ・令和6年度は、オンライン形式での研修開催が主流だったこともあり、研修会場等への相談ブースの設置は行わなかった。また、会員からの個別相談もほとんどみられなかった。

（ホ）災害対策プロジェクト委員会

- ・日本介護支援専門員協会副会長の七種秀樹氏を講師とし、災害支援の経験を元に災害探索関連研修を開催した。（県委託事業P18参照）グループワークでは秋田県内各地域の災害支援について活発な意見が出され、情報共有の機会ともなり有意義な研修であった。

(2) 会員状況

令和6年度の会員確定数は、正会員762名、賛助団体3団体であり、新規会員は47名であった。正会員の前年度比は、11名の減であった。

県南地区 継続会員 290 名  
新規会員 13 名  
合 計 303 名 (前年度比 - 5 名)

中央地区 継続会員 261 名  
新規会員 24 名  
合 計 285 名 (前年度比 - 5 名)

県北地区 継続会員 164 名  
新規会員 10 名  
合 計 174 名 (前年度比 - 1 名)

(3) 関係機関・団体との会議、研修会等への参加協力・講師及び委員派遣等

- ・介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業における秋田県協議会
- ・秋田市地域包括支援センター主任介護支援専門員等情報交換会講師
- ・大館市福祉まるごと支援ネットワーク代表者会議
- ・秋田スマートカレッジ講師
- ・秋田県福祉保健人材・研修センター運営委員会
- ・秋田県介護保険事業計画策定委員会
- ・秋田県リハビリテーション専門職協議会
- ・秋田介護労働懇談会委員
- ・秋田県地域版介護労働懇談会委員
- ・秋田県高齢者対策協議会委員
- ・秋田県地域福祉推進委員会委員
- ・秋田県循環器病対策推進協議会委員
- ・秋田県医療介護総合確保事業計画策定委員会委員
- ・秋田県介護サービス事業所認証評価制度推進委員会
- ・秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会
- ・患者のための薬局推進協議会
- ・歯科保険医療推進事業連絡調整会議
- ・山形県老人福祉施設協議会主催介護支援専門員専門研修課程講師
- ・秋田県福祉保健研修カリキュラム検討委員会
- ・大館市介護保険事業計画運営委員会委員
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修講師
- ・秋田県介護支援専門員研修委員会委員
- ・秋田県介護業務「カイゼン」推進会議
- ・地域リハビリテーションの推進に向けた有識者会議
- ・歯科医療提供体制構築推進検討会
- ・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修講師
- ・在宅医療従事者の安全対策協議会（秋田県在宅医療推進センター）

- ・21 世紀の医療を守る会（県医師会）
- ・秋田県薬剤師会 介護保険研修会講師

#### (4) 事務局体制の整備

事務局員を1名増員し、5名体制（フルタイム4名、パートタイム1名）として強化を図った。

表1 専門研修課程Ⅰ・介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者・前期）〉

【1組目】

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 日目	6/18 (火)	9:00-13:00 (4H)	ケアマネジメントにおける実践の 振り返り及び課題の設定	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		14:00-16:00 (2H)	生活の継続及び家族等を支える基 本的なケアマネジメント	
2 日目	6/19 (水)	9:00-11:00 (2H)	脳血管疾患のある方のケアマネジ メント	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		11:00-13:00 (2H)	認知症のある方及び家族等を支え るケアマネジメント	
		14:00-16:00 (2H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマ ネジメント	
3 日目	6/20 (木)	9:00-11:00 (2H)	心疾患のある方のケアマネジメン ト	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		11:00-13:00 (2H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメ ント	
		14:00-16:00 (2H)	看取り等における看護サービスの 活用に関する事例	
4 日目	6/21 (金)	9:00-11:00 (2H)	家族への支援の視点や社会資源の 活用に向けた関係機関との連携が 必要な事例のケアマネジメント	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		11:00-13:00 (2H)	ケアマネジメントにおける実践の 振り返り及び課題の設定	
		14:00-16:00 (2H)	研修全体を振り返っての意見交 換、講評及びネットワーク作り	

## 【2組目】

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 目 目	7/9 (火)	9:00-13:00 (4H)	ケアマネジメントにおける実践の 振り返り及び課題の設定	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		14:00-16:00 (2H)	生活の継続及び家族等を支える基 本的なケアマネジメント	
2 目 目	7/10 (水)	9:00-11:00 (2H)	脳血管疾患のある方のケアマネジ メント	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		11:00-13:00 (2H)	認知症のある方及び家族等を支え るケアマネジメント	
		14:00-16:00 (2H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマ ネジメント	
3 目 目	7/11 (木)	9:00-11:00 (2H)	心疾患のある方のケアマネジメン ト	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		11:00-13:00 (2H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメ ント	
		14:00-16:00 (2H)	看取り等における看護サービスの 活用に関する事例	
4 目 目	7/12 (金)	9:00-11:00 (2H)	家族への支援の視点や社会資源の 活用に向けた関係機関との連携が 必要な事例のケアマネジメント	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		11:00-13:00 (2H)	ケアマネジメントにおける実践の 振り返り及び課題の設定	
		14:00-16:00 (2H)	研修全体を振り返っての意見交 換、講評及びネットワーク作り	

表2 専門研修課程Ⅱ・介護支援専門員更新研修〈実務経験者（初回更新対象者）〉後期研修  
及び 介護支援専門員更新研修〈実務経験者（2回目以降更新対象者）〉

【1組目】

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 日 目	7/24 (水)	9:00-10:00 (1H)	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	◎ケアデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		10:00-12:00 (2H)	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	
		13:00-15:00 (2H)	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
2 日 目	7/25 (木)	9:00-11:00 (2H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		11:00-13:00 (2H)	心疾患のある方のケアマネジメント	
		14:00-16:00 (2H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
3 日 目	7/26 (金)	9:00-11:00 (2H)	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		11:00-13:00 (2H)	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	



## 【2組目】

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 目 目	8/21 (水)	9:00-10:00 (1H)	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	◎企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		10:00-12:00 (2H)	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	○秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
		13:00-15:00 (2H)	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
2 目 目	8/22 (木)	9:00-11:00 (2H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
		11:00-13:00 (2H)	心疾患のある方のケアマネジメント	○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		14:00-16:00 (2H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
3 目 目	8/23 (金)	9:00-11:00 (2H)	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		11:00-13:00 (2H)	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子

## 【3組目】

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 目 目	9/11 (水)	9:00-10:00 (1H)	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	◎企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
		10:00-12:00 (2H)	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		13:00-15:00 (2H)	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
2 目 目	9/12 (木)	9:00-11:00 (2H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
		11:00-13:00 (2H)	心疾患のある方のケアマネジメント	○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		14:00-16:00 (2H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
3 目 目	9/13 (金)	9:00-11:00 (2H)	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
		11:00-13:00 (2H)	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	○秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子

表3 介護支援専門員再研修・更新研修（実務未経験者）

（敬称略）

日程		時間	科目	講師
1 日 目	8/5 (月)	9:00-12:00 (3H)	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	◎大館市特別養護老人ホームつくし苑 施設長 伊藤 政利
		13:00-15:00 (2H)	ケアマネジメントに係る法令等の理解	
2 日 目	8/6 (火)	9:00-15:00 (5H)	自立支援のためのケアマネジメントの基本	◎特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 ○けあデザインラボ 代表 綿貫 哲
3 日 目	8/7 (水)	9:00-12:00 (3H)	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	◎仙北市介護老人保健施設にしき園 主査 佐々木 孝臣
		13:00-15:00 (2H)	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	◎すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎 ○紫雲閣居宅介護支援センター 管理者 水谷 昌志
4 日 目	8/8 (木)	9:00-12:00 (3H)	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一
		13:00-16:00 (3H)	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
5 日 目	8/9 (金)	9:00-12:00 (3H)	ケアマネジメントの展開・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
		13:00-17:00 (4H)	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○けあデザインラボ 代表 綿貫 哲

日程		時間	科目	講師
6 日 目	8/26 (月)	9:00-13:00 (4H)	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	◎居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男 ○企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一
7 日 目	8/27 (火)	9:00-12:00 (3H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○大湯リハビリ温泉病院 理学療法士 大田 健太郎
		13:00-16:00 (3H)	心疾患のある方のケアマネジメント	◎りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 ○仙北市民福祉部包括支援センター 主査 草薨 那津喜
8 日 目	8/28 (水)	9:00-12:00 (3H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○秋田県厚生連あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 中川 久美子
		13:00-15:00 (2H)	高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子
9 日 目	8/29 (木)	9:00-13:00 (4H)	看取りに関する事例	◎特別養護老人ホームすこやか横手 高齢者支援課長 小林 悠希 ○横手市増田町居宅介護支援事業所 管理者 高橋 幸
		14:00-17:00 (3H)	地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	◎企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 ○りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子
10 日 目	8/30 (金)	9:00-12:00 (3H)	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	◎特別養護老人ホームすこやか大雄 施設長 長山 正弘 ○すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎

表4 主任介護支援専門員研修

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 日 目	10/16 (水)	9:00-13:00 (4H)	地域援助技術（コミュニティソー シャルワーク）	◎りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 ○紫雲閣居宅介護支援センター 管理者 水谷 昌志
2 日 目	10/17 (木)	9:00-13:00 (4H)	地域における生活の継続を支える ための医療との連携及び多職種協 働の実現	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤
		14:00-17:00 (3H)	対人援助者監督指導（スーパービ ジョン）	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○JA 秋田おばこケアプランセンター 管理者 伊藤 弘幸
3 日 目	10/18 (金)	9:00-16:00 (6H)	対人援助者監督指導（スーパービ ジョン）	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○JA 秋田おばこケアプランセンター 管理者 伊藤 弘幸
4 日 目	10/28 (月)	9:00-16:00 (6H)	対人援助者監督指導（スーパービ ジョン）	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○JA 秋田おばこケアプランセンター 管理者 伊藤 弘幸
5 日 目	10/29 (火)	9:00-15:00 (5H)	個別事例を通じた介護支援専門員 に対する指導・支援の展開	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
6 日 目	10/30 (水)	9:00-15:00 (5H)	個別事例を通じた介護支援専門員 に対する指導・支援の展開	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎
7 日 目	10/31 (木)	9:00-16:00 (6H)	個別事例を通じた介護支援専門員 に対する指導・支援の展開	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎

日程		時間	科目	講師
8 日 目	11/8 (金)	9:00-16:00 (6H)	個別事例を通じた介護支援専門員 に対する指導・支援の展開	◎けあデザインラボ 代表 綿貫 哲 ○すこやか横手居宅介護支援センター 管理者 塚本 信太郎

表5 主任介護支援専門員更新研修

(敬称略)

日程		時間	科目	講師
1 日 目	9/18 (水)	10:00-12:00 (2H)	生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	◎企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 ○紫雲閣居宅介護支援センター 管理者 水谷 昌志
		13:00-17:00 (4H)	脳血管疾患のある方のケアマネジメント	
2 日 目	9/19 (木)	9:00-13:00 (4H)	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	◎りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 ○仙北市市民福祉部包括支援センター 主査 草薨 那津喜
3 日 目	9/20 (金)	9:00-13:00 (4H)	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男
4 日 目	9/25 (水)	9:00-13:00 (4H)	心疾患のある方のケアマネジメント	◎りんごの里福寿園居宅介護支援センター 管理者 石橋 裕子 ○仙北市市民福祉部包括支援センター 主査 草薨 那津喜
5 日 目	9/26 (木)	9:00-13:00 (4H)	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	◎秋田県看護協会立居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤 菖子 ○八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤
		14:00-17:00 (3H)	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	◎秋田けやき会ウエルハウス御所野 施設長 長澤 利一 ○八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤
6 日 目	9/27 (金)	9:00-13:00 (4H)	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	◎企業組合ほっと 代表理事 松本 慶一 ○居宅介護支援事業所あおぞら 管理者 村上 英男